

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00176）

事務事業名称 障害者の社会参加支援			款 04	項 01	目 03	事業 004	整理番号 180			
現担当課名 障害者施策課		係名 管理係		連絡先電話番号 1142		昨年度整理番号 181				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成18年度	実行計画事業 目標 04 施策 16 計画事業 03			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成27年度担当課名	障害者施策課				事業評価区分 一般				
	対象	身体障害者、知的障害者、精神障害者 など		根拠法令等 (1) (2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	移動支援事業利用者数 移動支援事業実利用者数（月々平均数）					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	移動支援、社会参加促進事業（各種講習会、自動車改造費助成等）、意思疎通支援（手話通訳者・要約筆記者派遣等）、地域活動支援センター等の利用は、対象者の申請に基づき、各事業の資格要件を判断した上で、サービスを給付または助成する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	手話通訳者・要約筆記者派遣回数 イベント等に手話通訳・要約筆記者を派遣した回数					
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画 （目標値） 実績	平成28年度 計画	平成27年度 対計画比（%）		
指標	活動指標（1）	1 人	616	615	644	706	681	738	96.5	
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3 回	966	1,000	1,073	1,138	981	1,200	86.2	
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	413,944	444,748	432,445	466,337	463,689	464,544	平成27年度 予算執行率（%） 99.4	
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	（内）委託費	7 千円	388,842	418,253	406,465	439,616	438,093	437,271		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.91	2.70	3.76	3.76	3.82	3.82	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	25,113	23,787	33,126	33,126	33,414	33,414	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	13,900	14,150	14,150	14,150	14,675	14,675	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	452,957	482,685	479,721	513,613	511,778	512,633		
	単位当たりコスト (14÷6)÷1)	15 円	735,320	784,854	744,908	727,497	751,510	694,625		
	財源	受益者負担分	16 千円	1,929	2,221	1,792	2,042	2,057	2,083	
		国からの補助金等	17 千円	132,292	132,214	129,454	136,220	126,706	134,358	
		都からの補助金等	18 千円	73,668	74,394	72,400	76,616	72,063	75,889	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	207,889	208,829	203,646	214,878	200,826	212,330		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	245,068	273,856	276,075	298,735	310,952	300,303		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	180	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		移動支援事業委託		69,251	回	420,705
		手話通訳者・要約筆記記者派遣		981	回	9,034
		地域活動支援センター事業（運営：直営1所、補助事業所1所）		2	所	23,879
	その他（自動車改造費支援、社会活動支援、代読・代筆サービスほか）		10,071			
(2) 事業実績	<p>移動支援事業の利用回数は、年間約2,000回前後の伸びが続いています。需要が伸びる中、担い手であるガイドヘルパーの養成については、すぎなみ地域大学と協働でガイドヘルパー養成講習会を行った結果、122人の方が新たに区のガイドヘルパーの資格を取得しました。</p> <p>手話通訳者等の派遣事業などのコミュニケーション支援を通して障害者の社会参加を支援しました。平成27年度は事業が周知されたことで、視覚障害者等から広く利用が進みました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年10月の障害者自立支援法本格施行に伴い、事業の再編・新規事業を開始しました。その後法の見直しが行われ、平成24年度には自立支援法、児童福祉法の改正により民間の相談支援事業所の役割が拡大しました。</p> <p>平成25年4月に障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）が施行され、身体・知的・精神の3障害に難病等が追加されました。</p> <p>障害者総合支援法施行3年後の平成28年4月に向けて、サービスや基準等の見直しが行われました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>障害者社会参加活動の中心事業の一つである移動支援事業には、余暇・社会参加活動だけでなく、通所・通学に利用したい、また対象を引き下げて、小学生低学年から利用したい、さらには通所・通学先を起点として利用したい、精神障害者の基準を緩和してほしいなど、柔軟な利用への要望が数多く寄せられています。</p> <p>手話通訳者・要約筆記記者派遣事業は、派遣費の増額等の要望が出ています。</p> <p>意思疎通に支障のある知的障害や失語症の方等の支援について、研究・検討、職員への周知等が求められています。</p>				
	今後の予測	<p>障害者の要望は、障害の種類や程度により異なります。その中で移動支援事業の利用希望者は、制度改正のあった平成24年度を除き、一貫して増加しています。利用者の増に対して、サポートするガイドヘルパーの数も、区等が行う養成講習会等により担い手も増えていることから、利用率や一人当たりの利用時間数の増にも対応できる体制が整備されていくと考えられます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記記者派遣事業は、徐々に周知されていくことにより、視覚障害者等から幅広い活動に対する利用が進むと考えられます。</p>				
評価と課題	<p>移動支援は障害者の社会参加の基幹となる事業であり、今後も様々な障害者の方から必要とされる福祉サービスです。一方、利用件数の増加に伴い経費も増え続けており、引き続きガイドラインに沿った適正な支給を行っていきます。また、事業の担い手であるガイドヘルパーについては、質の高いヘルパーを養成することに加え、すでに資格を持ち、従事していない方を活動につなげていく方策を検討していきます。</p> <p>手話講習会、要約筆記講習会など各種教室は、応募者の伸び悩みや講師の人材確保が課題であり、対応策等を検討していきます。また、区直営の地域活動支援センター事業については、今後の方向性や利用者ニーズへの対応などを引き続き検討していきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
今後の進め方	<p>移動支援事業については、利用者が増え続ける中で、様々な障害がある方からさらなる利用の要望があります。利用者の方に、適正なサービスの提供を行うために「障害者の社会参加支援」という本来の事業目的をガイドラインを踏まえて判断し、財政面や他の福祉サービスなども考慮しながら適正なサービス支給を実施していきます。</p> <p>区直営の地域活動支援センターは、そのあり方全般を見直す中で、より利用者のニーズに沿った実施内容となるよう、引き続き検討していきます。</p> <p>意思疎通支援事業は、現在の実施事業も含め、求められる様々な支援について、対象、優先順位、手段・方法等を今後の動向を踏まえつつ研究・検討していきます。</p>					

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00178)

事務事業名称		障害者福祉の啓発			款	04	項	01	目	03	事業	007	整理番号	183		
現担当課名		障害者施策課			係名	管理係			連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号	184			
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和51年度														
	平成27年度担当課名	障害者施策課											事業評価区分	一般		
	対象	区内在住で障害者手帳を取得している障害者、支援者及び関係機関。障害者福祉推進連絡協議会委員。			根拠法令等	(1)		障害者基本法第5、7、23条			(2)		杉並区障害者福祉推進連絡協議会設置要綱			
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害のある人もない人もお互いに触れ合う機会を通じて、ノーマライゼーションの理念についての理解と認識を深める。障害者の生活に役立つ情報を正確かつ迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることを可能にする。			活動指標	指標名(1)		「ふれあいフェスタ」参加団体・作業所数			指標説明		「ふれあい美術展」出展数			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉及び関連施策の推進を図るため、杉並区障害者福祉推進連絡協議会を開催する。障害者の生活支援サイト「の～まらいふ杉並」を運営する。アクセシビリティに十分配慮し、誰もが使いやすいサイト作りに取り組む。「ふれあいフェスタ」などの各種催しを障害者週間事業として実施する。			成果指標	指標名(1)		障害者生活支援サイト「の～まらいふ杉並」年間アクセス数			指標説明		障害者福祉推進連絡協議会開催回数			
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	組	54	60	47	50	43	50	86.0						
	活動指標(2)	2	点	295	300	261	300	282	300	94.0						
	成果指標(1)	3	件	193,304	200,000	218,051	230,000	193,439	230,000	84.1						
	成果指標(2)	4	回	3	3	3	3	3	30	100.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	20,056	10,137	9,025	10,695	8,811	19,170	平成27年度予算執行率(%)	82.4					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	12,164	7,369	6,548	8,024	6,623	7,491	区のウェブサイト再構築により、平成28年1月から障害者生活支援サイト「の～まらいふ杉並」は区公式ホームページのサブサイトとなりました。これにより、「の～まらいふ杉並」の外部委託によるサイト運営を廃止し、区が直接運営を行うこととしたことから、都への補助金申請も平成27年度をもって終了しました。この外部委託によるサイト運営が平成28年1月末で終了したため、執行残が発生しました。						
	職員数	常勤職員数	8	人	2.50	2.50	2.60	2.90	2.80	3.00						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	1.00	0.50	0.10	0.10	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	21,575	22,025	22,906	25,549	24,492	26,241						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	2,780	1,415	283	283	587	587						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	44,411	33,577	32,214	36,527	33,890	45,998							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	822,426	559,617	685,404	730,540	788,140	919,960							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	3,321	3,664	3,254	3,688	3,051	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	3,321	3,664	3,254	3,688	3,051	0							
差引:一般財源(14-20)	21	千円	41,090	29,913	28,960	32,839	30,839	45,998								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	183
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		障害者支援サイト運用等委託			
		障害者週間事業の開催			889
		その他(障害者福祉推進連絡協議会経費・管理事務費・郵送費ほか)			1,820
(2) 事業実績	<p>「障害者支援サイト」では、公共機関サイトが目指すべきレベルの等級AAに準拠するため、平成24年度にJIS規格診断を実施し、平成25年度から27年度にわたり等級AAを実現・継続しました。平成27年12月に区と障害者団体連合会が共催して「ふれあいフェスタ」を開催し、障害者週間事業としてパネル展示を本庁舎で行いました。</p> <p>障害者福祉推進連絡協議会では、障害者の権利擁護を推進するための意識啓発方法や障害を理由とする差別の解消に向けた「職員対応要領」策定のための意見交換を行いました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成15年度より、障害者自立生活者等表彰の対象に精神障害者を加え、三障害すべてを対象としました。</p> <p>杉並区障害者週間事業と一体で開催していた社会福祉協議会が主催する「うえるフェスタ」が平成21年度で終了となりました。</p> <p>平成25年4月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」が施行されたことにより三障害に難病等が追加され、障害福祉サービス等の対象者が拡大しました。</p> <p>平成28年4月、障害者差別の解消に向けて、「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求める「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>家族や障害者本人の高齢化や障害の重度化等、障害者の実態に合わせた施策を実施するとともに、サービスや制度の変更に際しては、迅速かつ正確な情報の提供を実施していく必要があります。</p> <p>また、法律等がたびたび改正される中で、これらに関する情報がない、知らなかったという苦情要望が寄せられることもありました。</p>			
	今後の予測	<p>平成25年4月に障害者総合支援法が施行されてから様々な事業を実施していますが、現行の障害者への理解に関する啓発事業の実施方法の見直しや新たな事業の展開などが引き続き必要です。</p> <p>国において障害者総合支援法の見直しが行われ、平成30年4月からの施行が予定されている中で、近隣自治体とも連携しながら更なる情報収集に努め、正確な情報を関係者へ提供し、円滑に改正に対応できるよう、財源の確保も含めた様々な準備を進めていく必要があります。</p> <p>また、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行に伴い、民間事業者へも法の趣旨を理解してもらうための働きかけ等を行っていく必要があります。</p>			
評価と課題	<p>障害者福祉推進連絡協議会では障害関係団体の他、地域・教育・就労機関等の関係者を委員とし、障害者や障害福祉施策に関する理解促進や意見交換の場として有機的に機能しています。今後もより広範な意見収集・議論の場としての機能を維持・拡充していくことが必要です。</p> <p>障害者支援サイトでは安定したサイトへのアクセスがあります。区のウェブサイト再構築により、今後は区が直接サイト運営を行うことから、これまで以上に利用しやすいサイト構成・情報の提供に努めていきます。</p> <p>「ふれあいフェスタ」では、障害の有無に関わらず多くの方が参加することができ、意識啓発につながるイベント内容となるよう、実施体制の有り方を含め障害者団体連合会と検討していきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	今後の進め方	<p>障害者生活支援サイト「のーまらいふ杉並」は、障害者へ最新の情報を提供する有効なツールです。ウェブサイト再構築により「のーまらいふ杉並」の独自性(障害者向けに特化したサイト内容・等級AAのウェブアクセシビリティ等)が損なわれぬよう、これをできる限り継承し、発展させます。</p> <p>ふれあいフェスタでは、障害のある方とない方の交流を契機に、地域で社会生活を営む障害のある方等に対する理解を更に深めるため、区民ボランティアを活用したイベントを開催します。また、障害者の権利擁護を推進するための講演等を開催し、権利擁護の理念の普及、障害を理由とする差別の解消等に向けた取組を引き続き実施していきます。</p>			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00179)

事務事業名称		障害者団体への助成			款	04	項	01	目	03	事業	008	整理番号	184	
現担当課名		障害者施策課			係名	管理係			連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	185		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和39年度													
	平成27年度担当課名	障害者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	区内の障害者、一般区民、心身障害者団体			根拠法令等	(1)		障害者基本法第3条、第4条							
						(2)		杉並区心身障害者団体助成要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者の団体活動を支援することにより、障害者の自立や社会参加の機会を拡大する。			活動指標	指標名(1)		団体の事業開催回数							
					指標説明		団体事業活動の参加者数								
				指標名(2)											
				指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	心身障害者団体の運営や活動に係る経費の一部を助成する。 心身障害者の生涯学習事業に係る経費の一部を助成する。 障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」を実施する。			成果指標	指標名(1)		活動参加者数対前年度比								
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 回	102	137	128	158	119	149	75.3						
	活動指標(2)	2 人	2,805	2,860	2,660	2,829	2,716	2,816	96.0						
	成果指標(1)	3 %	96.7	98.9	94.8	98.9	102.1	99.5	103.2						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	9,707	11,949	9,526	12,145	9,672	12,000	平成27年度 予算執行率(%)	79.6					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	6	8	8	8	8	8	平成27年度の執行率が79.6%となった主な理由は、宿泊訓練の宿泊数減少等により、申請額が予算額を下回ったためです。						
	職員数	常勤職員数	8 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	8,630	8,810	8,810	8,810	8,747	8,747						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	18,337	20,759	18,336	20,955	18,419	20,747							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	179,775	151,526	143,250	132,627	154,782	139,242							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	18,337	20,759	18,336	20,955	18,419	20,747							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	184
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		心身障害者団体への運営経費の助成	14	団体	8,788
		ふれあい運動会	1	回	875
		その他（消耗品の購入、郵券購入ほか）			9
(2) 事業実績	心身障害者団体への運営経費の一部を助成することにより障害者の方々のより積極的な社会参加の機会を作ることができました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	心身障害者団体（助成団体）は、当初10団体から始まり、平成19年度からは16団体、平成22年度から15団体、平成24年度からは16団体に対して運営活動経費の一部を助成しています。平成25年度からは15団体、平成27年度は14団体に助成しています。 親子スポーツ教室に対する助成は、平成20年度で終了しました。 ふれあい運動会は昭和61年に開始し、平成4年からは一般区民を含めた実行委員会形式により実施しています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	障害者の自立や社会参加の機会を促進する事業を継続するため、区からの団体助成について維持を望む声が強いです。 各事業には一般区民や学生が多く参加しており、障害理解、福祉教育及びボランティア育成の足がかりとしても意義のある事業となっています。			
	今後の予測	若年障害者の団体加入が減少し、また会員の高齢化も進み、実活動会員の減少が顕著になっています。現状のままでは会員数の減少に歯止めがかからないと予測されることから、障害者団体連合会や関係機関等と会員の加入促進策について検討していく必要があります。			
評価と課題	団体助成については、各団体で不公平感の無いように、申請について周知を図るとともに、助成金分配基準の適宜見直しを図っていく必要があります。 ふれあい運動会については、区民・団体・行政による実行委員会形式で実施しており、障害者の積極的な社会参加や障害のある人も無い人も自然に交流する地域社会づくりにも貢献しています。また障害者の地域社会への相互理解を推進しています。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	障害者団体活動は、障害者の社会参加だけでなく、情報の共有化など障害者が地域の中で生活していく上で非常に有効な活動であり、また区にとっても、障害者の意見や要望を収集できる貴重な情報源となっていることから、今後も引き続き支援していく必要があります。ただ、多くの団体では高齢化などにより会員数が減少しており、活動自体が硬直化している部分も見受けられるので、財政支援だけでなく、団体活動の周知など新規会員加入への支援等を行っていきます。				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00181)

事務事業名称		障害者通所施設支援事業			款	04	項	01	目	03	事業	010	整理番号	185
現担当課名		障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	187	
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成19年度												
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	一般								
	対象	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業所を運営する法人及びその施設に通所する個人			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律						
						(2)		杉並区障害者通所施設サービス推進事業補助金交付要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者総合支援法に基づき生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援のサービス事業所を運営する法人に対し、必要な経費を助成することにより、施設の安定した経営と通所者の負担軽減を図る。			活動指標	指標名(1)		送迎サービス対象施設数						
					指標説明		障害福祉サービス事業所施設数							
					指標名(2)		障害福祉サービス事業所施設数							
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	サービス推進事業補助金の算定基準に基づき、事業所の運営に必要な経費を助成する。送迎サービスを実施する民営施設に対して、その費用の全部又は一部を補助する。小規模作業所又は精神障害者共同作業所から移行した事業所に対して、施設の借り上げ費を補助する。通所者に対して交通費等の負担軽減を行っている法人に、その費用を補助する。			成果指標	指標名(1)		送迎サービス利用施設通所者数							
					指標説明		障害福祉サービス事業所通所者数							
					指標名(2)									
					指標説明									
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	93.1				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 所	6	6	5	6	6	6	100.0					
	活動指標(2)	2 所	28	28	28	28	28	28	100.0					
	成果指標(1)	3 人	56	60	40	60	53	60	88.3					
	成果指標(2)	4 人	1,161	1,043	1,219	1,058	1,253	1,038	118.4					
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	408,143	454,836	420,821	457,820	426,281	461,226	平成27年度予算執行率(%)					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	18	20	20	23	22	23						
	職員数	常勤職員数	8 人	1.42	1.20	1.13	1.13	0.83	0.83					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	12,255	10,572	9,955	9,955	7,260	7,260					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	420,398	465,408	430,776	467,775	433,541	468,486						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	70,066,333	77,568,000	86,155,200	77,962,500	72,256,833	78,081,000						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	255,964	235,435	251,292	242,320	254,631	252,198					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	255,964	235,435	251,292	242,320	254,631	252,198						
差引：一般財源(14-20)		21 千円	164,434	229,973	179,484	225,455	178,910	216,288						
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	185
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		通所サービス利用促進事業(送迎サービス支援)	6	所	7,411
		日中活動系サービス推進事業	28	所	254,478
		訓練等給付交通費等助成	29	所	47,657
		訓練等給付施設借上費助成ほか	16	所	116,685
		その他(事務費、郵送料)			50
(2) 事業実績	小規模作業所等から新体系への移行は平成23年度をもって終了しました。				
事業開始当初から現在までの変化	送迎支援事業として、平成20年度以降は車両購入費を除いた人件費等の運営費を助成しました。さらに平成24年度から送迎加算が報酬化されたため、送迎加算額を差し引いた額を補助しました。平成27年度には障害福祉サービス等報酬改定があり、送迎加算の見直しがありました。平成20年度末時点で小規模作業所等は14所が新体系に移行しました。また、平成21年度に2所、平成22年度に6所、平成23年度に3所が移行しました。平成23年度末をもって、障害者総合支援法に基づく新体系への移行が完了しました。現在は移行した施設に運営費等の助成を行い円滑な運営が行われています。				
事業環境の変化	通所施設の増設など、日中活動の場を確保するとともに、今後も通所にかかる交通費の補助を継続してほしいとの声が寄せられました。				
今後の予測	障害者総合支援法の新体系への移行が完了し、各事業所が補助金に頼らない自立した方向に進むことが期待されます。				
評価と課題	障害者自立支援法(現在の障害者総合支援法)が平成18年に施行されてから、旧法施設、小規模作業所等の新体系への移行が平成23年度で完了し、各事業所の運営も安定してきました。より充実した運営を目指すため、施設の移転などの動きがあります。今後は、通所者の負担軽減なども考慮しつつ、各事業所が補助金に頼らない自立した運営に向けて働きかけていきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	この事業は、事業者の家賃補助等を行う「訓練等給付施設整備費助成」事業、利用者の交通費や給食費を助成する「訓練等給付交通費及び給食費助成」事業、利用者の送迎支援を行う「送迎支援事業」、運営経費を補助する「障害者日中活動系サービス推進事業」事業等から成っています。いずれの補助金も、各施設の安定した自立運営に向けた支援をするため、引き続き適正な支給事務に努めていく必要があります。				

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00182）

事務事業名称 公益財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団			款 04	項 01	目 03	事業 011	整理番号 186				
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係		連絡先電話番号 2275		昨年度整理番号 188					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成10年度	実行計画事業 目標 04 施策 16 計画事業 02			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般					
	対象	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団			根拠法令等 (1) (2)	杉並区公益財団法人に対する助成に関する条例 障害者の雇用の促進に関する法律					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	公益財団法人障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行なうことができるよう、財団運営の安定に資する。			活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	雇用支援対象者数（就労移行支援事業登録者数+新規登録者数） 職場定着支援件数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対して、必要な経費を助成する。区市町村障害者就労支援事業を委託し、実施する。			成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	就職者の割合 事業団からの就職者数÷雇用支援対象者数 過年度からの継続就労者 4月1日時点の利用者のうち、過年度に就職して4月1日時点で就労が継続している者の数					
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	対計画比(%)	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
指標	活動指標（1）	1	人	107	120	125	125	106	125	84.8	
	活動指標（2）	2	件	5,711	6,000	6,616	6,500	9,069	10,000	139.5	
	成果指標（1）	3	%	72.9	73	49.6	70	58.4	70	83.4	
	成果指標（2）	4	人	292	300	467	450	507	550	112.7	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	65,060	72,283	69,482	73,991	73,591	83,800	平成27年度 予算執行率(%) 99.5	
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	（内）委託費	7	千円	55,882	58,384	57,232	63,136	62,736	70,494		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.70	0.70	0.68	0.68	0.71	0.71	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円	6,041	6,167	5,991	5,991	6,210	6,210	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	71,101	78,450	75,473	79,982	79,801	90,010		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	664,495	653,750	603,784	639,856	752,840	720,080		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18	千円	2,183	2,183	2,232	2,232	2,272	2,368	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	2,183	2,183	2,232	2,232	2,272	2,368		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	68,918	76,267	73,241	77,750	77,529	87,642		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	186
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	運営費助成			10,855
		区市町村就労支援事業委託			62,736
	(2) 事業実績	<p>平成27年度の事業団からの支援を受けた就職者数は66名と平成26年度比6.5%増、一方、新規登録者数は84名であり、累積登録者数は868名と平成26年度比約8.9%増となっています。相談者数は4.6%増の10,469人、定着支援の対象者は9.9%増の453人です。</p> <p>平成27年度は、新たに発達障害者を対象に本人・家族交流会、パソコンの講習会を開催しています。また、利用登録者の中から就労した方を対象にアンケートを実施し、現況や支援サービスの満足度、今後のニーズなどの把握に努めています。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年4月から障害者自立支援法が施行されたことにより、障害者の地域での自立した生活の実現に向けた就労支援体制の強化充実が図られました。国の障害者雇用施策の強化により障害者雇用に対する企業意識も高まりました。平成24年度には障害者雇用促進法の改正により、雇用支援センターから、法内の就労移行支援事業に移行しました。平成25年度に財団法人から公益財団法人へと移行しました。就労支援を受ける障害者を障害種別でみると登録者のうち平成27年度47.8%、就職者の内訳でも平成27年度は精神障害者の割合が63.6%となり、精神障害者への就労支援と定着支援へのニーズが高くなってきています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>精神障害、発達障害、高次脳機能障害、難病など個々の障害特性にあった就労支援が求められています。また、教育機関からは、就労情報の提供や卒業後の定着支援が求められています。就労している障害者からは、余暇や集いの場を通じての仲間づくりや、個別の定着支援、高齢化に伴う相談支援等の要望があります。雇用している企業からはきめ細かい支援や情報提供を必要とされています。地域の障害者施設等からは、地域での働く場の開拓や、就労支援の充実が期待されています。</p>			
	今後の予測	<p>平成28年4月からの障害者差別解消法の施行に伴い障害者雇用促進法も改正され、障害者差別の禁止、合理的配慮の提供義務、苦情処理等、障害者の雇用環境が制度的に変化しています。また、同改正により、平成30年度から法定雇用率の算定基礎に精神障害者が加えられることで、今後も障害者雇用の促進が予想されます。登録者の中で精神障害者や発達障害者、難病などの登録が今後も増加する事も予想されます。さらに、これまで長く就労していた障害者が高齢化により退職し、地域で過ごす場が必要となってきます。</p>			
	評価と課題	<p>事業団の事業は、障害者就労をめぐる環境の変化に応じるために多様化しています。定着支援の重要性が増し、企業訪問だけでなく、地域の関係機関との連携による生活支援や余暇支援など個別のきめ細かい支援が必要です。また、登録者の中で発達障害を含む精神障害者の割合が増える中で、障害特性に応じた適切な支援につなぐため、発達障害者アセスメントシートの活用を進めます。精神障害者の特性から、就労までの準備が必要な方も多く、保健所・保健センターや医療機関、地域の相談支援事業所などと連携し、きめ細かい長期的な就労支援や、就労している障害者が高齢化などにより働き続けることができなくなる事例も増えており、高齢就労障害者の地域での受け皿の確保について検討していきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>登録対象種別の変化に伴い、多様な障害に対応できる就労支援が求められています。特に、精神障害者や発達障害者に対応したプログラムの実施や、職員の専門性の向上に取り組みます。</p> <p>今後増加していく就労者の定着支援に対応するため、就労者の実態を調査した結果を元に、地域の関係機関と連携して生活支援に力を入れていきます。</p> <p>就労支援センターや、生活困窮者自立支援法に基づく就労支援など、様々な就労支援機関と役割分担を明確にしながら連携していきます。</p> <p>特別支援学校卒業生の定着支援を行うために、学校と連携して就労支援を行います。</p>			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00188)

事務事業名称 障害者福祉タクシー等			款 04	項 01	目 03	事業 017	整理番号 191			
現担当課名 障害者施策課		係名 障害者福祉係	連絡先電話番号 1145		昨年度整理番号 194					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和50年度								
	平成27年度担当課名	障害者施策課					事業評価区分 一般			
	対象	移動の困難な心身障害者で、各事業の要件に該当する方	根拠法令等 (1) (2)	杉並区心身障害者福祉タクシー事業実施要綱 杉並区心身障害者自動車燃料費助成要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	移動に要する費用の一部を助成することにより、歩行困難な心身障害者の外出や社会活動参加を支援する。	活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	福祉タクシー券利用者数 燃料費助成対象人数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	月5,300円分の福祉タクシー券を支給する。 月62リットルを上限にガソリン代を1リットル当たり50円(軽油30円)助成する。 身体障害者手帳又は愛の手帳の所持者で、常時車いすを利用する方及び寝たきりの方を対象に、リフト付タクシーに利用できる補助券を支給する。	成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	発行した福祉タクシー券の利用率 支払済み乗車料金÷発行した福祉タクシー券の額面総額						
区分	単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画(目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 人	6,694	6,700	6,699	6,829	6,638	6,753	97.2	
	活動指標(2)	2 人	1,787	1,750	1,863	1,889	1,855	1,952	98.2	
	成果指標(1)	3 %	83.0	90	77.5	72	75.6	90	105.0	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	368,646	365,626	338,841	382,587	348,124	376,027	平成27年度 予算執行率(%) 91.0	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 前年度に比べ、タクシー券・リフト付タクシー券の利用登録者は微減となり、タクシー券の発行も減りましたが、利用実績はともに増加しました。(タクシー券 295,490千円 298,034千円、リフト14,129千円 15,065千円)一方、燃料費助成制度についても、利用登録者は微減となりましたが、利用実績が増えました。(28,812千円 33,458千円)	
	(内)委託費	7 千円	325,958	326,201	301,743	342,223	308,322	337,253		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.20	1.20	1.40	1.20	1.50		1.50
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	1.00	0.80	0.00	0.80	0.80		0.80
	人件費	常勤職員分	11 千円	10,356	10,572	12,334	10,572	13,121		13,121
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	2,780	2,264	0	2,264	2,348		2,348
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	381,782	378,462	351,175	395,423	363,593	391,496		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	57,033	56,487	52,422	57,903	54,774	57,974		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	3,000	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	3,000	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	378,782	378,462	351,175	395,423	363,593	391,496		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	191	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		タクシー乗車券支給対象者	6,638	人	298,034	
		リフト付タクシー補助券の支給対象者	955	人	15,065	
		自動車燃料費助成対象者	1,855	人	33,458	
		その他（支給事務費）				1,567
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	平成25年10月から福祉タクシー券の配布を、半年分ごとの支給方法から、1年分をまとめて支給する方法に変更しました。また平成27年2月発行分からは、偽造対策（ホログラム）を施したタクシー券の配布を開始し、平成27年10月発行分からは、券に透かしを入れ、偽造券対策を強化しました。自動車燃料費助成については、請求の遡及年限を5年から1年に変更した影響でH26年度は実績が大幅に減少しましたが、制度内容の周知の広がりから年度内に請求する方が増え、H27年度の支給実績は増加に転じました。				
		<p>福祉タクシー券や自動車燃料費助成の利用登録者は、更新制度を取っていないため、年々増加傾向にあります。 リフト付タクシーは、平成21年4月から車いす補助券及びストレッチャー補助券の発行方法等を変更したことに伴い、協定事業者が増加したため、利用の機会が拡大され利用回数が伸びています。</p> <p>福祉タクシー券は支給額の増額や障害の程度に応じた金額加算の要望があり、自動車燃料費助成についても、助成額を増やして欲しいなどの要望があります。 同時に、利用者から助成に対し多くの感謝の声が寄せられており、障害者の外出や社会活動参加に有効な支援となっています。 福祉タクシー事業・燃料費の助成事業ともに、障害者の外出の機会の増加を図り、また日常生活をサポートするうえで、今後も重要な事業といえます。</p> <p>身体障害者手帳取得者の増加や障害者の高齢化により、利用者の増加が予測されます。 また、高速道路の割引制度が拡大されたことや、平成28年より高速道路の料金が値上げされたこともあり、障害者の燃料費助成事業の利用については増加が予想されます。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
事業環境の変化	今後の予測					
	評価と課題	福祉タクシー事業や燃料費の助成事業は、障害者の外出の機会の増加を図るための重要な事業です。 燃料費の助成制度については、適正な助成を行うため、平成28年度に4年ぶりに現況調査を再開することとしました。 福祉タクシー事業は、受給要件を確認するため、利用登録者へ現況調査を実施することや、新規申請者の受給要件を確認するための事務処理等の見直しは課題となっています。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の進め方	福祉タクシー券・リフト付タクシー券や自動車燃料費の助成の制度は、今後も障害者の外出の支援のため、引き続き実施していきます。 事業を進めていく中で、偽造防止や不正利用防止の対策に加え、新規申請における資格の確認や定期的な現況調査を的確に行うことで、適正な制度の運用を図っていきます。				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00197)

事務事業名称		手話通訳相談の実施			款	04	項	01	目	03	事業	026	整理番号	200
現担当課名		杉並福祉事務所			係名	高井戸事務所管理係			連絡先電話番号	4312		昨年度整理番号	203	
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和47年度												
	平成27年度担当課名	杉並福祉事務所										事業評価区分	一般	
	対象	福祉相談に来所した聴覚障害者			根拠法令等	(1)		身体障害者福祉法第11条、11条の2						
						(2)		杉並区聴覚障害者及び言語機能障害者相談事業運営要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	手話通訳相談により聴覚障害者の利便性を向上させる。			活動指標	指標名(1)		手話通訳相談件数						
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	聴覚障害者が福祉事務所窓口で相談するとき、手話通訳者が対応する。			成果指標	指標名(1)		手話通訳相談数対前年比							
					指標説明		今年度実績÷前年度実績×100							
					指標名(2)									
					指標説明									
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 件	35	55	38	55	53	55	96.4					
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3 %	125.0	157.0	108.6	148.0	139.0	104.0	93.9					
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	399	411	405	411	399	432	平成27年度 予算執行率(%)	97.1				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.16	0.18	0.19	0.19	0.18	0.16					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.05	0.02	0.05	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,381	1,586	1,674	1,674	1,574	1,400					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	139	57	142	0	0	0					
	総事業費	14 千円	1,919	2,054	2,221	2,085	1,973	1,832						
	単位当たりコスト	15 円	54,829	37,345	58,447	37,909	37,226	33,309						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源		21 千円	1,919	2,054	2,221	2,085	1,973	1,832						
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	200	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		手話通訳者の謝礼の支出		3	人	399
		その他（ ）				
(2) 事業実績	平成27年度で53件の手話通訳の利用がありました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度から福祉事務所相談窓口での手話通訳（各所福祉事務所月2回）を実施しています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	手話通訳者がいることで、相談などがスムーズに進み感謝されています。一方、聴覚障害者団体からは、手話通訳者の配置日数を増やしてほしいとの要望があります。				
	今後の予測	聴覚障害者にとって福祉事務所に手話通訳者が配置されていることの重要性は変わりませんが、障害者相談体制の見直し結果に伴って、福祉事務所での手話通訳利用者数も減少すると思われます。				
評価と課題	身体障害者手帳申請や生活相談等の窓口である福祉事務所に手話通訳者が配置されていることにより、聴覚障害者は手話通訳者を介しスムーズに担当職員と相談することができ、必要なサービスの申請手続き等を円滑に行うことができます。手話通訳者を介した相談を行っていることについて、さらなる区民周知に努めていくことが課題です。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	障害者相談業務体制の見直しに合わせ、手話通訳相談の区民周知方法や実施体制について検討していきます。				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00198)

事務事業名称 障害者福祉会館事業運営			款 04	項 01	目 03	事業 027	整理番号 201					
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273		昨年度整理番号 204							
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分 既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度										
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課		事業評価区分		一般						
	対象	障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者		根拠法令等	(1)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例						
					(2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者福祉会館の部屋の貸し出し等、利用頻度を高める。障害者福祉会館利用者の健康増進、相互交流を図る。		活動指標	指標名(1)	会議室の利用件数						
				指標説明	会議室の利用延べ人数							
				指標名(2)								
				指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉会館の維持管理及び事業運営等の業務を杉並障害者福祉会館運営協議会に委託する。福祉会館まつり等行事、各種教室事業等自主事業への補助を行う。		成果指標	指標名(1)	会議室の開館日に対する利用率							
				指標説明	利用回数÷年間利用可能部屋数							
				指標名(2)								
				指標説明								
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度				
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)				
指標	活動指標(1)	1	件	3,976	4,000	3,766	4,000	3,707	4,000	92.7		
	活動指標(2)	2	人	54,070	56,000	52,275	56,000	48,318	56,000	86.3		
	成果指標(1)	3	%	54.9	60	52.1	60	51.3	60	85.5		
	成果指標(2)	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	67,716	66,342	65,351	68,152	64,836	70,005	平成27年度 予算執行率(%)	95.1	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7	千円	63,626	62,251	61,261	64,052	60,737	65,406			
	職員数	常勤職員数	8	人	0.72	0.60	0.45	0.45	0.47	0.47		
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分	11	千円	6,214	5,286	3,965	3,965	4,111	4,111		
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費	14	千円	73,930	71,628	69,316	72,117	68,947	74,116			
	単位当たりコスト	15	円	18,594	17,907	18,406	18,029	18,599	18,529			
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源		21	千円	73,930	71,628	69,316	72,117	68,947	74,116			
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	201	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設運営管理委託	1	所	54,562	
		区の補助事業による福祉会館まつり等各種催物助成				3,000
		運営協議会運営補助				1,096
		会館運営事務費				19
		その他（送迎用バス運行業務委託）				6,159
(2) 事業実績	<p>障害者福祉会館運営協議会に対し、施設の運営管理を委託しています。中心的な業務としては、障害者による貸室の受付業務や館内清掃業務があります。また、福祉会館まつりやレクリエーション等の協議会独自事業に対しても助成を行っています。各種の催し物には毎年安定的に参加があり、特に福祉会館まつりには1,400名以上の参加がありました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>障害者福祉会館運営協議会は従来から区の委託事業とともに自主事業として福祉会館まつりや各種催物を実施しています。一方で平成17年度まで直営で実施していた「ひろば事業」と「相談支援事業」については、平成18年度から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として同運営協議会に委託して行ってきました。しかし平成25年度から相談体制の再構築等により「ひろば事業」は区の直営に戻り、「相談支援事業」は委託を終了しました。また、利用者送迎用バス運行業務委託については運営協議会への委託費での契約から、平成28年1月より区との長期継続契約に変更となっています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>福祉会館まつりは、障害者を始め多くの一般区民の参加もあり、好評を博しています。平成23年度の福祉会館開設30周年記念に続き、平成24年度は区制施行80周年とタイアップした取組みとして開催し、一般区民・障害者ともに多数の参加がありました。また、各種講座にもより多くの方が参加しやすいよう、クラス数や対象者の拡大等が求められました。講座や催し物の内容充実、運営協議会に加盟していない障害者団体の参加、地域への開放などについて、更なる検討が区民から期待されています。</p>				
	今後の予測	<p>区の相談支援体制の再編により、運営協議会に委託していた相談支援事業は、平成25年度から民間法人への委託による事業と変わり、また、地域活動支援センターの運営も区直営となりました。同会館内で様々な事業が主体も様々に実施されることとなり、管理業務全般と自主事業の充実に力を注ぐこととなります。会館利用者の送迎バス運行については、高次脳機能相談事業、生活リハビリ事業、地域活動支援センター事業を含めた共同利用であることから、運営協議会で適正な運行管理を行います。講座や催し物の内容充実、運営協議会に加盟していない障害者団体の参加、地域への開放などについて、更なる検討が区民から期待されています。</p>				
評価と課題	<p>運営協議会は、区の受託事業として手話講習会や要約筆記講習会などを運営し、手話通訳者等の養成に貢献しています。また、パソコン講習会等、障害者の自立や社会参加を促進する事業も行い、区の障害者支援事業において重要な役割を担っているといえます。今後も区と連携して、障害当事者や支援者の活発な活動の拠点として、より一層障害者支援の推進に努めます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>運営協議会と十分に協議し、各種講習会・催し物等の内容の充実や貸室利用率の向上を図っていきます。</p>					

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00199)

事務事業名称		視覚障害者会館事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	028	整理番号	202	
現担当課名		障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	205		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度													
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	一般									
	対象	はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、 自営や雇用が困難な人 視覚障害者及び家族、ボランティア団体			根拠法令等	(1)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例								
						(2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	三療(はり、きゅう、マッサージ)の免許を有する視覚障害者で、 自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、 開業若しくは雇用されるよう自立の支援を行う。			活動指標	三療(はり、きゅう、マッサージ)の利用者数									
				指標名(1)											
				指標説明											
				指標名(2)											
				指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	視覚障害者会館の維持管理及び運営等の業務をNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に委託する。 三療(はり、きゅう、マッサージ)の施術の場の提供による視覚障害者への就労支援を行う。			成果指標	利用率										
				指標名(1)											
				指標説明	三療施術実施時間÷年間三療施術実施可能時間										
				指標名(2)											
				指標説明											
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 人	1,309	2,000	1,368	1,800	1,470	1,800	81.7						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3 %	31.0	30	27.6	30	26.4	30	88.0						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	18,238	18,173	18,172	15,720	13,263	16,530	平成27年度 予算執行率(%)	84.4					
	(内)投資的経費等	6 千円	103	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	18,135	18,173	18,172	15,720	13,263	16,530	執行率90%未満の理由 受付職員5人のうち3人が配偶者の扶養親族となる範囲内での就労形態を希望したため、それに伴う人件費(報酬及び社会保険料)の減です。						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.23	0.23	0.23	0.23	0.24	0.24						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,985	2,026	2,026	2,026	2,099	2,099						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費	14 千円	20,223	20,199	20,198	17,746	15,362	18,629							
	単位当たりコスト	15 円	15,371	10,100	14,765	9,859	10,450	10,349							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	6,728	5,337	5,609	4,598	5,717						
		都からの補助金等	18 千円	0	3,384	2,746	2,805	2,299	2,859						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	0	10,112	8,083	8,414	6,897	8,576							
差引:一般財源		21 千円	20,223	10,087	12,115	9,332	8,465	10,053							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	202	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		管理運営委託		1	所	13,263
		その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>視覚障害者会館は、平成18年度以降、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会を指定管理者として、盲人ホーム事業としての視覚障害者の自立援助のための講座の開催、三療施術を実施しています。なお、平成27年度からは運営管理を指定管理者制度から委託管理に変更しています。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>指定管理者であるNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会の前身は、任意団体の杉並区視覚障害者福祉協会で、創立以来70年の伝統ある団体であり、当会館の前身の盲人会館を含めて運営に深くかかわってきました。平成18年度から平成26年度まで、指定管理者として視覚障害者会館の運営を担っています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>会館が実施している各種講座、三療施術講習会は利用者に概ね好評です。</p>				
	今後の予測	<p>様々な制度改正が行われる中、視覚障害者に対するコミュニケーション支援、社会参加と就労の場の確保が、ますます重要になっていくものと予想されます。</p>				
評価と課題	<p>視覚障害者会館は、視覚障害者の自立更生を図り、交流の場を提供する数少ない支援施設です。NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会が平成18年度から平成26年度まで指定管理者として、障害特性への理解や配慮など専門的な対応で、協定に基づく業務を着実にこなしています。平成26年度に行った指定管理の検証では、会館利用者の高齢化や民間のクイックマッサージ市場の拡大などにより、区民利用実績は減少しており、指定管理者制度の活用効果が得られていないという結果になりました。平成27年度からは「業務委託」として実施していますが、あらためて視覚障害者に対するコミュニケーション事業全体の中で整理検討していきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	<p>はり・灸・マッサージの資格をもった視覚障害者に、施術の場を提供するとともに、各種講座等を実施することで、視覚障害者の社会参加等を援助していきます。また、同時に、杉並区視覚障害者福祉協会会員以外の視覚障害者に対して、各種講座等が周知されるように連携を図っていきます。</p>				

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00200）

事務事業名称		障害者交流館運営			款	04	項	01	目	03	事業	029	整理番号	203	
現担当課名		障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	206		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成7年度													
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課											事業評価区分	一般	
	対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者及び受託者			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者、障害者団体及び障害者福祉ボランティア等に施設を貸出し、地域における自主的な活動を通じて、自立と社会参加を促す。			活動指標	指標名(1)		利用回数							
					指標説明		利用人員								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営等を杉並区障害者団体連合会に委託する。			成果指標	指標名(1)		利用率								
					指標説明		利用時間数÷年間利用可能時間数								
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 回	4,007	4,000	3,787	3,800	3,945	4,000	103.8						
	活動指標(2)	2 人	55,888	58,000	53,474	56,000	55,265	56,000	98.7						
	成果指標(1)	3 %	61.0	65	55.5	65	51.0	65	78.5						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	32,155	35,030	31,145	35,499	32,124	40,804	平成27年度予算執行率(%)	90.5					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	31,920	35,030	31,145	35,499	32,124	40,714							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.23	0.23	0.23	0.23	0.24	0.24						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,985	2,026	2,026	2,026	2,099	2,099						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	34,140	37,056	33,171	37,525	34,223	42,903							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	8,520	9,264	8,759	9,875	8,675	10,726							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源(14-20)		21 千円	34,140	37,056	33,171	37,525	34,223	42,903							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 203

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	管理運営委託（和田）	1	所	14,416
		管理運営委託（高円寺）	1	所	17,708
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の事業運営は、障害者団体連合会に委託して行っています。平成24年度には指定管理者制度から業務委託に形態を変更し、主な事業は会議室等の貸出業務と日常清掃の委託業務です。障害者団体連合会は、団体自主事業として、わいわい和田まつりや高円寺交流館まつりを開催するとともに、区主催の障害者を対象とする催し物等に参加するなど、活発な活動をしています。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>和田障害者交流館については平成7年度の開設から杉並区障害者雇用支援事業団に、高円寺障害者交流館については平成14年3月の開設から杉並区障害者団体連合会に運営を委託しています。なお、平成18年度からは杉並区障害者団体連合会を指定管理者として管理運営等を行ってきましたが、平成24年度からは業務委託に形態が変更となっています。区としては、建物・設備等の維持管理を担っています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>特段意見・要望はありません。</p>			
	今後の予測	<p>障害のある方やボランティア活動をしている方々の活動の場及び交流の場としての役割を果たし、地域での障害者の自立を促していく必要があります。</p>			
評価と課題	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館は、多くの障害者に交流の場を提供するとともに、地域に支えられた交流館まつりをはじめ、会議室を広く一般に開放した目的外使用も盛んで、地域に密着した障害者施設となっています。なお、和田交流館では、頻繁に会議室を利用していた団体が活動を停止したことにより、平成27年度の会議室の利用率がかなり落ち込んでいます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>会議室等を有効に活用するため、更なる施設の充実・利用促進に向け、PR方法について受託者と協議を進めていきます。</p>			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00201)

事務事業名称			すぎのき生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	030	整理番号	204	
現担当課名			障害者生活支援課				係名	すぎのき生活園				連絡先電話番号	3399-8953	昨年度整理番号	207		
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始		昭和55年度														
	平成27年度担当課名		障害者生活支援課				事業評価区分 一般										
	対象		すぎのき生活園利用者 (利用者=重度知的障害者)				根拠法令等 (1) (2)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立すぎのき生活園運営要綱								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		障害程度の重い知的障害者に対し、日常生活の援助や各種活動の提供・支援を行い、日々の生活の充実と社会生活能力の向上を図る。				活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		日常生活支援活動における利用者数 日常生活支援活動における延べ利用者数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		日常生活動作(更衣・排泄・食事・移動等)への支援や介助を行う。 回収、リサイクル、軽作業、ウォーキング、畑作業、陶芸等の活動を行う。 機能訓練、自立能力向上への支援を行う。 送迎バス・給食を提供する。 健康管理、各種検診の実施、栄養指導を行う。 各種行事の実施と地域との交流を進める。				成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者÷利用者数 出席率 延べ通所人数÷(登録者数×開所日)								
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度								
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	人	79	84	85	84	82	84	97.6						
	活動指標(2)		2	人	19,954	20,269	17,440	20,580	17,306	18,370	84.1						
	成果指標(1)		3	%	98.3	100	98.0	100	98.0	100	98.0						
	成果指標(2)		4	%	86.2	100	84.1	100	83.8	90	83.8						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	95,433	110,806	108,173	104,386	102,623	107,753	平成27年度 予算執行率(%)	98.3					
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		7	千円	79,885	93,844	92,144	86,447	86,090	88,142							
	職員数	常勤職員数		8	人	45.26	44.00	43.23	42.50	46.00	45.50						
		再任用職員数		9	人	2.01	1.00	2.04	1.00	1.07	1.05						
		非常勤職員数		10	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	390,594	387,640	380,856	374,425	402,362	397,989						
		再任用職員分		12	千円	7,759	4,050	8,262	4,050	4,429	4,346						
		非常勤職員分		13	千円	2,780	2,830	2,830	2,830	2,935	2,935						
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	496,566	505,326	500,121	485,691	512,349	513,023							
	単位当たりコスト (14÷6÷1)		15	円	6,285,646	6,015,786	5,883,776	5,782,036	6,248,159	6,107,417							
	財源	受益者負担分		16	千円	199,077	201,750	201,267	199,276	201,313	199,874						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	199,077	201,750	201,267	199,276	201,313	199,874								
差引:一般財源 (14-20)		21	千円	297,489	303,576	298,854	286,415	311,036	313,149								
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	40.1	39.9	40.2	41.0	39.3	39.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	204
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		送迎用バス運行業務委託	243	日	59,875
		給食調理業務委託	242	日	28,189
		日常生活活動	84	人	7,809
		利用者健康管理	84	人	3,257
		その他（宿泊行事、杉実祭、社会見学 ほか）			3,493
	(2) 事業実績	6月新たに1名通所し82名の利用者に対し、個別支援計画に基づき、日常生活動作（更衣・排泄・食事・移動等）への支援・介助、回収リサイクル・軽作業・ウォーキング・畑作業・陶芸等活動の提供、機能訓練・自立能力向上への支援、送迎バス・給食の提供、健康管理・各種検診・栄養指導等を行いました。また、各種行事の実施、杉実祭の実施や地域の催しに参加し交流を図りました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	東京都杉並児童学園を前身として、昭和55年に区へ移管され、平成21年に障害者自立支援法に基づく生活介護施設、平成25年度には障害者総合支援法に基づく生活介護施設になりました。障害の多様化、重度化が進む中で、行政、民間ともに各種サービスが拡充し、グループホームから通う当園利用者も増加しています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	老朽化に伴う施設改修、送迎バスの拡充、宿泊事業の継続、相談支援の充実、福祉救済所の円滑な運営について、当園保護者会から要望が出ています。すべての利用者がサービス等利用計画作成することになり、特定相談事業所との連携強化が求められています。保護者からは、相談支援事業所の相談支援の質に対して不安の声があります。			
	今後の予測	特別支援学校の在籍児童・生徒は増加傾向にあります。今後も生活圏希望者が増えると考えられます。また、様々な障害・疾病がある利用者や民間事業所での受け入れが難しい利用者の増、支援の必要な家族も多くなっていることから、生活場面の支援や介助、健康管理、連絡調整などの業務が増えています。保護者の高齢化とともに、グループホームから通所する利用者も増えています。			
	評価と課題	区立重度知的障害者通所施設として希望者を受け入れ、安定した運営を行ってきました。通所者はほぼ定員いっぱいのため、今後は同種の民間施設との連携により、地域に配慮した施設間移行を進めていきます。様々な障害・疾病がある利用者や民間事業所での受け入れが難しい利用者の増、支援の必要な家族も多くなり、生活場面の支援や介助、健康管理、連絡調整などの業務が増えています。民間事業所が増える中、特に重度障害者に対する支援力の向上が課題となっています。区立施設のノウハウの提供や助言、施設設備面の整備や体制の充実等民間事業所に対する支援も進めます。			
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	様々な障害・疾病が重複した利用者やパニック時対応が難しい利用者や家族への個別支援の必要性から職員の支援力の向上が大切です。職員間のコミュニケーションを活発にし、職員相互にサポートを行うとともに、OJT、ケース会議、専門研修などで得た情報を職員全体で理解していきます。生活場面の支援や介助、健康管理に関わる業務、家族や関係機関との連絡調整などの業務が増えています。現在の利用者や家族の状況やニーズにあった運営及びより安全に配慮した運営を行うため業務を見直していきます。また、民間事業所及び関係部署と連携を図り、同種の民間施設への移行を促進します。			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00202)

事務事業名称			こすもす生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	031	整理番号	205
現担当課名			障害者生活支援課				係名			こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312	昨年度整理番号	208
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 5年度														
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課										事業評価区分	一般			
	対象	こすもす生活園の利用者(利用者) = 重度身体障害者				根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律				(2)		杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則	
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう支援する。家族を含めた利用者の24時間の生活を見据え健康管理、環境整備等、関係機関とのコーディネートを行う。				活動指標	指標名(1)		登録者者数 = 生活介護登録者数 + 自立訓練登録者数				指標説明		延利用者数	
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が自分の持っている能力を発揮し、地域社会で生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加を支援する。個別支援計画を策定し、介護・支援、給食・送迎、機能訓練、入浴、社会適応支援、スポーツ・レクリエーション、創作的・生産的活動、健康管理、医療的ケア、相談・支援、地域交流・広報活動などを行う。				成果指標	指標名(1)		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合				指標説明		成果のあった利用者 ÷ 利用者数	
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	25	26	26	26	26	100.0							
	活動指標(2)	2	人	4,849	5,856	4,743	5,751	4,956	86.2							
	成果指標(1)	3	%	96.0	100	92.0	96	96.0	100							
	成果指標(2)	4	%	82.8	90	80.0	85	86.0	85							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	51,962	54,319	53,412	54,692	53,813	55,612	平成27年度予算執行率(%)		98.4				
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7	千円	48,577	50,611	50,137	50,815	50,517	50,967							
	職員数	常勤職員数	8	人	17.55	18.00	17.76	17.75	16.74	18.00						
		再任用職員数	9	人	0.00	1.00	0.80	2.00	2.05	1.05						
		非常勤職員数	10	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	151,457	158,580	156,466	156,378	146,425	157,446						
		再任用職員分	12	千円	0	4,050	3,240	8,100	8,485	4,346						
		非常勤職員分	13	千円	5,560	5,660	5,660	5,660	5,870	5,870						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	208,979	222,609	218,778	224,830	214,593	223,274							
	単位当たりコスト((14-6) ÷ 1)	15	円	8,359,160	8,561,885	8,414,538	8,647,308	8,253,577	8,587,462							
	財源	受益者負担分	16	千円	69,473	72,361	65,412	70,250	70,361	72,361						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	69,473	72,361	65,412	70,250	70,361	72,361							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	139,506	150,248	153,366	154,580	144,232	150,913							
受益者負担比率(16 ÷ 14)	22	%	33.2	32.5	29.9	31.2	32.8	32.4								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	205	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		送迎用バス運行業務委託	243	日	37,452	
		給食調理業務委託	243	日	13,039	
		利用者健康管理	26	人	846	
		医療的ケア	6	人	1,334	
		その他（日常生活活動費）			1,142	
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>3台のリフト付きバスで25名の利用者の送迎を行い、うち2名は2便運行で対応しました。経管栄養の方以外の22名の方へ給食提供（常食、常軟食、軟らか食）し、摂食指導医から口腔機能の評価や介助方法の指示を受け実践しました。てんかん発作や加齢に伴う皮膚疾患、排泄機能の問題など医師の助言を受け、また吸引・注入・気管切開部の管理の医療的ケアを6名の利用者を実施しました。地域の小中学生の職場体験や大学生の介護等体験、また歯科衛生士などの実習生の受け入れを積極的に行いました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成5年、重度の身体障害者を対象とする法外の通所施設としてスタートし、平成16年に支援費制度が開始した際、デイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。障害者自立支援法施行後は、生活介護事業と自立訓練事業を実施してきました。平成25年4月から障害者総合支援法にもとづく生活介護と自立訓練の2事業となりました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>利用者の加齢による機能低下とともに医療的ケアが必要となる利用者がいます。さらに家族の高齢化に伴う生活環境の変化への対応の必要となっています。専門性の高いサービス提供が求められており、ヘルパー事業所や関係機関からの人材育成の協力や専門分野での連携が求められています。災害時や緊急時のわかりやすい連絡体制・連絡方法の検討・提示が求められています。震災時に周辺に住んでいる障害者の福祉救済所としての開設が求められています。また、地域福祉の拠点としての役割も期待されています。</p>				
	今後の予測	<p>身体障害者の既存施設の定員がほぼ一杯になり、特別支援学校卒業生の受け入れ先の確保が重要になっています。新規施設の開設とともに、既存施設でも暫定の受け入れを行う必要性が高まっています。利用者の高齢化や重度化の対応に伴い、医療的ケアの受け入れ対象者と体制の確認が必要になっています。また、送迎バス乗車時間の短縮などを含めた住まいの近くの施設間移行への流れを、利用者家族と共通理解を進めることが求められています。</p>				
評価と課題	<p>利用者の障害の重度化及び重複化とともに加齢による機能低下の傾向が顕著になっています。日々の健康チェックや身体状況の変化に留意した支援を行っています。今後も利用者ひとりひとりの健康状態や課題について理解を深めること、予防的対応や適切で専門的な支援を行うため、様々な専門職が関わりチームアプローチを進めていきます。利用者家族の高齢化に伴い、日常生活の中でも必要な福祉サービスを活用や、グループホームや相談事業所など関係機関とも連携をとり、将来を見据えた生活を組み立てていきます。</p>					
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>障害の重度化及び重複化による機能低下によって介助量が増え、きめ細やかな対応が必要になっているため、支援技術のスキルアップを目指し、支援に関わる情報共有を丁寧に行い、支援体制について見直しを行います。障害の重度化及び重複化に伴い、車いすの大型化が見られ、活動時のスペース、避難路の確保などの課題があります。建物内外の環境整備を行うとともに、活動や導線の工夫を意識することが必要です。</p>					

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00203)

事務事業名称			なのはな生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	032	整理番号	206
現担当課名			障害者生活支援課				係名			なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415	昨年度整理番号	209
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		平成 9年度													
	平成27年度担当課名		障害者生活支援課				事業評価区分 一般									
	対象		なのはな生活園の利用者 (利用者=重度身体障害者)				根拠法令等 (1) (2)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		日常的なさまざまな活動や経験を通して、園の利用者である重度の身体障害者が、地域社会の中で生き生きとした生活を送ることができるようにする。 園の利用者の健康を維持するため、健康管理の支援や健康状態のチェック・医療的ケアを実施する。				活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		施設登録人数(生活介護登録人数+自立訓練登録人数) 延べ通所者人数							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。 ・個別支援計画の策定・実施、機能訓練、医療的ケア、入浴サービス、バス送迎、給食提供などを行う。				成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者÷利用者数 出席率 延べ通所者人数÷(登録者数×開所日)							
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)		1	人	33	34	35	36	36	34	100.0					
	活動指標(2)		2	人	5,750	6,832	5,969	7,564	6,354	7,147	84.0					
	成果指標(1)		3	%	96.0	100	97.0	100	97.0	100	97.0					
	成果指標(2)		4	%	84.0	100	87.0	100	86.7	100	86.7					
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	52,132	52,508	52,024	62,513	61,891	65,600	平成27年度予算執行率(%)	99.0				
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費		7	千円	47,251	48,395	47,993	58,291	57,863	61,438	平成26年度から27年度の増加については、27年度に、特別支援学校卒業生の通所先の確保のため、なのはな生活園が暫定的に定員を超えて3名の受け入れを行った。それに伴い、通所手段としてのワゴン車(972万)等の増加が必要であった。					
	職員数	常勤職員数		8	人	20.50	20.50	20.50	22.50	23.45	21.00					
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50					
		非常勤職員数		10	人	2.00	2.00	1.00	2.00	2.00	2.00					
	人件費	常勤職員分		11	千円	176,915	180,605	180,605	198,225	205,117	183,687					
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	2,070					
		非常勤職員分		13	千円	5,560	5,660	2,830	5,660	5,870	5,870					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	234,607	238,773	235,459	266,398	272,878	257,227						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	7,109,303	7,022,735	6,727,400	7,399,944	7,579,944	7,565,500						
	財源	受益者負担分		16	千円	82,968	85,470	87,100	85,793	95,151	93,353					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	82,968	85,470	87,100	85,793	95,151	93,353							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	151,639	153,303	148,359	180,605	177,727	163,874							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	35.4	35.8	37.0	32.2	34.9	36.3							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	206
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		送迎用バス運行業務委託	243	日	43,814
		給食調理業務委託	243	日	14,176
		利用者健康管理	36	人	1,081
		医療的ケア	6	人	1,412
		その他(日常生活活動・行事特別活動ほか)			1,408
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>利用者のニーズに基づいた個別支援計画を作成し、一人ひとりに合ったサービスを提供しました。第三者評価を実施し、75%以上の方から「満足」の評価をいただきました。</p> <p>利用者の通所手段の確保と、個々の食形態に合わせた食事の提供を行いました。利用者の送迎と給食は民間会社に委託し職員と連携を取りながら実施しています。</p> <p>定期的に医療相談や健康チェックなどを実施し、健康管理を実施しました。医療的ケアの必要な方には、主治医からの指示のもと、指導医の指導を受けた看護師や福祉職員がケアを実施しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成9年重度の身体障害者を対象とした法外の通所施設としてスタート。平成16年に支援費制度開始の際デイサービス事業を行う法内の施設へと移行。平成18年障害者自立支援法施行後は、生活介護事業と自立訓練事業を実施。平成25年4月から障害者総合支援法に基づいた運営を実施しています。</p> <p>利用者及び家族の高齢化に伴い、家庭への支援の必要性や支援内容の多様性が求められてきています。また、福祉制度の改正により支援者との連携が重要になっています。</p> <p>特別支援学校卒業生の障害が重度・重複化の傾向にあり、通所施設での医療的ケア体制の充実などが必要となっています。また、受け入れる通所施設数が不足しており、なのはな生活園では定員を超え、暫定的な受け入れを行うことで、日中活動の場を提供しています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>利用者の加齢による機能低下や利用者の健康状態に即したサービスの充実が求められています。家族の高齢化に伴う生活環境の変化に対応した、きめこまやかな情報提供や支援が求められています。</p> <p>震災時等非常時の速やかな連絡体制と共に福祉救済所としての整備が求められています。医療的ケアなど重度の障害を有する方の日中活動の場としての役割が求められています。</p>			
	今後の予測	<p>特別支援学校の在学状況などから、今後も医療的ケアの必要な児童や重度の児童の増加が予想されます。</p> <p>家族の高齢化に伴い、グループホームや施設などで暮らす重度の身体障害の方が増えることが予想されます。</p> <p>利用者の高齢化に伴い、介護保険サービスの対象者が増えていきます。</p> <p>今後の施設の整備に伴い、現在の登録利用者の変化が予想されます。</p>			
評価と課題	評価と課題	<p>重度の身体障害者の新規卒業生の日中活動の場を確保するために、定員を超えて暫定的な受け入れを行っています。今後の施設整備に合わせて、暫定受け入れの解消の為に、現在登録している利用者の他施設への移行等を進めます。合わせて、身体への負担の軽減や、震災などの緊急時に対応できるよう、バスの乗車時間を短くするために、近くの施設利用へ誘導していきます。</p> <p>現在の永福学園等の低学年の在学状況から、今後さらに、重度の方や医療的ケアの必要な方の利用の増加が予想されます。現在、安全なケア実施のために、指導医の指示のもと、職員の研修やマニュアルの整備など実施していますが、今後、福祉施設での実施については更なる検証をしていきます。</p> <p>公立施設として重度の身体障害者支援について、民間のスキルアップに貢献する役割があります。</p>			
	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
中長期的な改善・見直しの方向	今後の進め方	<p>個別の支援計画に基づき、地域の社会資源と連携して質の高い支援を実施します。</p> <p>利用者、ご家族の将来を含めたニーズを把握し、自宅近くの施設に関する情報や、今後の施設の整備に関する情報を提供することで、見直しを持って選択できるよう支援をします。</p> <p>重度の障害をお持ちの方や医療的ケアの必要な方の利用の増加が予想される中、今後の福祉施設での医療的ケア実施について、人数や実施方法などの検証を早急に行います。</p> <p>施設の整備が整うまで、引き続き29年度も暫定的な受け入れを行う必要があります。具体的に受け入れに当たって必要な項目を検討し、準備を進めます。</p> <p>利用者の地域生活を支えるために、民間の職員への研修の場の提供や、重度の身体障害者支援についての情報提供を行います。</p>			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00204)

事務事業名称 障害者の入所・通所施設の運営助成			款 04	項 01	目 03	事業 033	整理番号 207		
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273			昨年度整理番号 210			
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成21年度							
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般			
	対象	民営化した障害者通所施設等を運営する法人		根拠法令等 (1) (2)	杉並区重度知的障害者通所施設整備・運営に関する補助要綱 障害者支援施設マイルドハート高円寺「なでしこ」運営費補助要綱				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	民営化した重度身体障害者通所施設や新たに民間が開設した重度知的障害者通所施設が、区立生活園とともに重度障害者の受け入れに応えていく。運営経費の一部を補助することにより、施設が安定して運営できるよう図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	利用者登録人数(年度当初) 年間延べ利用者数				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	重度身体障害者施設においては、特に経費を要する医療的ケアにかかる経費、及び送迎バス運行の経費を補助する。重度知的障害者施設においては、施設運営にかかる施設借上げ経費や非常勤職員人件費等の運営経費の一部を補助する。障害者通所施設においては、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	定員に対する年度末の登録者数の割合 年度未登録者数÷定員(5施設の計) 1日当たり平均利用者数 年間延べ利用者数÷年間開園(所)日数(5施設の計)				
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画 (目標値) 実績	平成28年度 計画	平成27年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	117	120	125	138 133	138	96.4	
	活動指標(2)	2 人	24,790	26,000	27,444	30,000 27,702	30,000	92.3	
	成果指標(1)	3 %	100.8	100	92.9	100 92.3	100	92.3	
	成果指標(2)	4 人	100	100	112	115 111	115	96.5	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	90,966	104,115	100,196	113,088 108,211	123,434	平成27年度 予算執行率(%) 95.7	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0 0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0 0	0		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.35	0.35	0.34	0.34 0.12	0.12	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00 0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00 0.20	0.20	
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,021	3,084	2,995	2,995 1,050	1,050	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0 0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0 587	587	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	93,987	107,199	103,191	116,083 109,848	125,071		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	803,308	893,325	825,528	841,181 825,925	906,312		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0 0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0 0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0 0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0 0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0 0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	93,987	107,199	103,191	116,083 109,848	125,071		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0 0.0	0.0			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	207	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		重度身体障害者支援施設運営助成	1	所	54,614	
		重度知的障害者通所施設運営助成	3	所	41,115	
		障害者通所施設の送迎サービス助成（あけぼの作業所分）	1	所	12,482	
		その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>重度身体障害者施設については、運営経費のうち、医療的ケアにかかる非常勤職員人件費（指導医、看護師等）及び送迎バス運行にかかる経費の一部を補助しました。</p> <p>重度知的障害者施設については、施設運営費のうち、非常勤職員人件費、施設賃借料、送迎にかかる経費等の一部を補助しました。</p> <p>障害者通所施設については、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助しました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>重度障害者通所施設の需要に応えるため、民間事業者による施設整備を図るとともに民間施設であっても公立施設と同等のサービスを提供し、安定的な運営を確保できるよう、運営費の一部助成を行ってきました。</p> <p>平成24年度から送迎加算が報酬化されたため、送迎サービスに要する経費の補助については、送迎加算額を差し引いた額で補助をしています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>重度知的障害者通所施設と重度身体障害者通所施設の開設により、多くの利用者が充実した日中活動に参加できたことで一定の評価を得られました。</p> <p>高齢化に伴い障害の重度化や重複化が見込まれる利用者に合わせてサービスの質を確保・向上するために補助金の拡充を求める声がありました。今後の利用者の増加を踏まえて、新たな施設整備の助成等と合わせて運営費の充実が求められています。</p>				
	今後の予測	<p>障害者施設では、施設利用者の高齢化による身体的機能の低下に伴い、重複障害者の割合や医療の進歩に伴い、医療的ケアを必要とする利用者の増加が見込まれます。</p> <p>また、特別支援学校の卒業生の日中の活動場所を確保するため、新たな施設の整備の必要性が高まっています。</p>				
評価と課題	<p>運営経費の一部を補助することにより、安定的な施設運営を図っています。</p> <p>今後、施設利用者の高齢化等に伴い、重度重複障害者の割合や医療的ケアを必要とする利用者が増加すると見込まれます。このため、施設利用者の障害特性にあわせたサービスを提供するため、国や東京都の動向を踏まえて、運営費の補助を行います。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>障害者施設の実情を踏まえて、適正なサービスの提供を図るため、引き続き運営費の一部補助を行います。</p> <p>補助金の交付に際しては、実績報告書等により施設で実施される事業内容の把握及び運営状況の精査を行い、適切な補助金交付に努めます。</p>					

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	208
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		職場体験実習	60	人	386
		すぎなみワークチャレンジ事業	27	人	25,875
		障害者施設の工賃アップ支援			3,616
		その他(ステップアップ雇用)			30
(2) 事業実績	<p>職場体験実習では、体験型実習の割合が63%です。ワークチャレンジ事業では区役所での就労体験を生かし、事業退職者13人中8名が一般就労しました。工賃では、任意団体である「すぎなみ仕事ねっと」への運営支援を行うとともに、民間企業との協働事業を通じて、障害者施設の活性化をしていきました。結果的に平均工賃の伸びは平成26年度比3.6%増になりました。また、杉並区の優先調達方針を策定し、庁内からの受注や物品調達を推進しました。</p>				
事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年に障害者自立支援法が施行されたことにより、障害者の地域での自立した生活の実現に向けた就労支援体制の強化充実が図られました。平成18年4月から精神障害者を雇用率に算定できることになり、精神障害者の就労が大幅に進みました。また平成25年に障害者の法定雇用率が、民間企業で1.8%から2.0%に引き上げられ、障害者の雇用が進みました。 工賃向上については国が平成19年度から「工賃倍増5か年計画」として、また、東京都はそれを受けて平成24年6月に「東京都工賃向上計画」を策定し工賃向上の取組を推進してきました。杉並区も平成18年から作業所の工賃アップを目的とした「すぎなみ仕事ねっと」を支援をしています。平成27年度からは、民間企業との協働事業を進めながら障害者施設の更なる工賃アップを図っています。</p>				
事業環境の変化	<p>就労意欲を喚起したり、就労に必要な課題を明らかにするために、様々な就労体験の場が求められています。精神障害者や発達障害者など様々な障害に対応した就労の支援が必要です。また、就労継続支援事業所や企業に就職している方の高齢化によるその後の支援や居場所について課題となっています。各障害者施設等からは工賃アップにつながるような軽作業や清掃などの受注の増加や販路拡大の場が求められるとともに、作業所の活性化や民間のノウハウを取り入れられるような仕組みづくりが求められています。</p>				
今後の予測	<p>平成28年4月からの障害者差別解消法の施行に伴い、雇用分野においても募集・採用時等での差別の禁止や合理的配慮の提供が義務付けられています。また、平成30年度からは精神障害者を加えた法定雇用率の引き上げも予定されています。 工賃向上については、東京都は工賃向上計画を策定し更に工賃アップを推進しており、杉並区においても、民間企業との協働事業を通じて障害者施設の活性化や工賃アップに取り組んでいきます。</p>				
評価と課題	<p>各障害者通所施設からの就職者数が横ばいの状態であるため、職場体験実習を通じて意欲を喚起するとともに障害特性にあった就労支援を図ります。就労支援の実施には、生活支援と一体的に取組む必要があるため、障害者雇用支援事業団を中心に、公共職業安定所、病院・保健センター、相談支援事業所などの専門機関や地域と連携を推進します。高齢障害者の日中活動の場については今後関係機関との検討を進めます。 障害者通所施設に通う障害者の工賃アップについては、これまで「すぎなみ仕事ねっと」という任意団体への支援を通じて進めつつ、民間企業との協働事業を通じて現状の課題の把握や民間の視点を導入した工賃アップの取り組みを進めます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	<p>障害者施設等で働く障害者の就労意欲を喚起したり、働くことを希望している障害者に就労体験の機会を提供することで一人ひとりにあった就労に結び付くよう、実習の場の提供、ワークチャレンジ事業を今後も実施していきます。 障害者施設の工賃アップについては、平成27年度から協働事業を開始していますが、各作業所と市場ニーズを結びコーディネートの役割を民間事業者にも担ってもらうことにより、障害者施設の活性化させ工賃アップを図り、都の平均工賃を上回れるようにしていきます。また、工賃アップを目的とした任意団体「すぎなみ仕事ねっと」についても、平成30年度を目標により自主的で効果的な運営がなされるよう、協働事業を通じて支援していきます。</p>				

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00682）

事務事業名称 障害者スポーツ等支援			款 04	項 01	目 03	事業 041	整理番号 216			
現担当課名 障害者施策課		係名 管理係		連絡先電話番号 1143		昨年度整理番号				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 新規事業				
事務事業の概要	事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標 04	施策 16	計画事業 03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成27年度担当課名	障害者施策課					事業評価区分	一般		
	対象	区内の障害者及びその関係者		根拠法令等	(1) (2)	障害者基本法第1条、第6条及び第25条				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者スポーツ・レクリエーションを通じて互いに親交を深め、励ましあって、一人一人の生活を向上させていくようにする。 障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援することにより、社会参加の機会を拡大する。		活動指標	指標名(1) 指標説明 指標名(2)	実態調査実施回数 障害者スポーツ・レクリエーションの活動支援に向けた実態調査の実施回数 障害者スポーツ・レクリエーション普及・振興講演会				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定を受け、スポーツに対して関心の高まるこの時期を大きな契機として捉え、障害者がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を増やすための方策を実施し、障害者の社会参加を積極的に進めていく。		成果指標	指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	障害者スポーツ・レクリエーションへの参加意向がある障害者の割合 参加意向者数÷実態調査回答者数				
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1	回			1	1	0	100.0	
	活動指標(2)	2	回			1	1	1	100.0	
	成果指標(1)	3	%			80	82.3	90	102.9	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			554	370	1,028	平成27年度 予算執行率(%) 66.8	
	(内) 投資的経費等	6	千円			0	0	0	特記事項 障害者スポーツ等支援検討会を職員及び関係団体職員を中心に行ったことにより、報酬支払がなかったため執行残が発生しました。	
	(内) 委託費	7	千円			84	84	520		
	職員数	常勤職員数	8	人			0.20	0.20		0.20
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円			1,762	1,749		1,749
		再任用職員分	12	千円			0	0		0
		非常勤職員分	13	千円			0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			2,316	2,119	2,777		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円			2,316,000	2,119,000	0		
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0		0
		国からの補助金等	17	千円			0	0		0
		都からの補助金等	18	千円			0	0		0
その他の補助金等		19	千円			0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円			0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			2,316	2,119	2,777		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 216

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	障害者スポーツ・レクリエーション実態調査実施	1	回	350
	(2) 事業実績	障害者が障害者スポーツ・レクリエーションに親しむ機会を増やすため、実態調査を実施し、普及・振興策の実施に向けた検討を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成26年に東京オリンピック・パラリンピックが平成32年（2020年）に開催される旨の決定を受け、スポーツへの関心が高まるこの機会に障害者の社会参加の機会を拡大するため、平成27年度から障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援するための方策の検討を開始しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	より多くの障害者の社会参加の機会を拡大するためには、競技性の高い障害者スポーツより、障害の程度にかかわらず、誰もが気軽に参加することができる障害者レクリエーション活動への支援を重点的に実施していくことが必要との意見があります。			
	今後の予測	障害の程度にかかわらず、誰もが気軽に参加することができる障害者レクリエーション活動への支援を実施するため、引き続き効果的な方策の検討を継続するとともに、活動の場の確保や支援を行う人材の育成など、体制整備を図ることが必要です。			
	評価と課題	障害者がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を増やすことは、障害者の社会参加を促進し、本人の自己実現を可能にすることだけに留まらず、障害への理解を深め、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、認め合える共生社会・全員参加型の社会の実現へとつながります。こうした視点に立って、取組を推進していきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	障害の程度にかかわらず、誰もが気軽に参加することができる障害者レクリエーション活動を実施することで、障害者の社会参加の機会を拡大を図ります。そのため、障害者とその所属団体だけでなく、各支援団体とも連携しながらより効果的な支援内容と具体的な支援方法を検討し、実施していきます。			

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00217）

事務事業名称		障害者福祉会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	001	整理番号	224	
現担当課名		障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	224		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度													
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課										事業評価区分	施設維持管理		
	対象	障害者福祉会館及びその利用者			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等への参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。			活動指標	指標名(1)		施設の延べ床面積							
					指標説明		保守委託契約件数								
					指標名(2)										
					指標説明										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				成果指標										
	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。				指標名(1)										
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	m ²	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	100.0						
	活動指標(2)	2	件	9	9	9	9	9	100.0						
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	31,956	27,595	27,024	33,410	26,721	37,049	平成27年度 予算執行率(%)	80.0				
	(内) 投資的経費等	6	千円	420	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費	7	千円	23,553	18,938	18,779	23,172	18,300	23,281	執行率90%未満の理由 機械設備保守点検委託 契約の落差金が470 万円あったほか、光熱 水費も140万円ほど 節約しています。					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.12	0.12	0.34	0.34	0.12	0.12					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.20	0.20	0.40	0.40					
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,036	1,057	2,995	2,995	1,050	1,050					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	566	566	1,174	1,174					
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	32,992	28,652	30,585	36,971	28,945	39,273						
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	18,677	16,429	17,537	21,199	16,597	22,519						
	財源	受益者負担分	16	千円	763	45	45	23	23	25					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	763	45	45	23	23	25						
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	32,229	28,607	30,540	36,948	28,922	39,248						
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	2.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 224

平成27年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	1	所
(1) 主な取組	光熱水費	1	所	6,500
	維持管理経費等	1	所	228
	工事請負費	1	所	1,693
	その他（通信運搬費）			498
	(2) 事業実績	平成25年度より、障害者福祉会館3階に杉並区障害者地域相談支援センター（すまいる高井戸）が入り、建物の保守管理や定期清掃等維持管理については1階の障害者雇用支援事業団とともに三者で連携を図っています。また、昨年同様節電にも積極的に取り組んでいます。平成25年度にはほとんど使用実績のなかった浴槽を会館内の有効スペースとして改修しています。		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、障害者福祉会館運営協議会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払うとともに、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等に努めています。このため、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。しかし、施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、適正な維持管理を実施します。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00683)

事務事業名称		視覚障害者会館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	002	整理番号	225
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号			
上位施策No・施策名		16 障害者の社会参加と就労機会の充実							予算事業区分	新規事業				
事務事業の概要	事業開始	平成57年度												
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課							事業評価区分	施設維持管理				
	対象	視覚障害者会館及びその利用者			根拠法令等	(1)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるように施設を維持管理する。			活動指標	指標名(1)		施設延床面積						
					指標名(2)		保守委託契約件数							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。			指標説明										
				成果指標	指標名(1)									
					指標名(2)									
				指標説明										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	m ²			167	167	167	100.0					
	活動指標(2)	2	件			4	4	4	100.0					
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			2,479	1,925	2,136	平成27年度予算執行率(%)	77.7				
	(内)投資的経費等	6	千円						特記事項 執行率90%未満の理由 清掃業務委託契約の落 差金が約7万円、ほか に光熱水費を約3.7万 円節約しています。					
	(内)委託費	7	千円			1,002	877	1,005						
	職員数	常勤職員数	8	人				0.12						0.12
		再任用職員数	9	人										
		非常勤職員数	10	人				0.10						0.10
	人件費	常勤職員分	11	千円				1,050						1,050
		再任用職員分	12	千円										
		非常勤職員分	13	千円				294						294
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円			2,479	3,269	3,480						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円			14,844	19,575	20,838						
	財源	受益者負担分	16	千円										
		国からの補助金等	17	千円			668	748						716
		都からの補助金等	18	千円			334	374						357
その他の補助金等		19	千円											
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円			1,002	1,122	1,073						
差引:一般財源(14-20)		21	千円			1,477	2,147	2,407						
受益者負担比率(16÷14)	22	%												

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 225

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	1	所	711
		光熱水費	1	所	642
		維持管理経費等	1	所	572
		その他（ ）			
(2) 事業実績	視覚障害者会館の維持管理については、平成27年度より指定管理者制度から業務委託に変更したNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携し、利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払うとともに、光熱水費の節減等に努めてきました。このため、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。</p> <p>しかし、施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、適正な維持管理を実施します。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00218)

事務事業名称		障害者交流館維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	003	整理番号	226	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	225				
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成7年度														
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課									事業評価区分	施設維持管理				
	対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者			根拠法令等	(1)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例									
						(2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。			活動指標	指標名(1)	施設延床面積(2施設合計)									
					指標説明	保守委託契約件数										
					指標名(2)											
					指標説明											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				成果指標	指標名(1)										
	利用者にとって快適な施設を維持するために、機械設備の保守点検等を実施する。					指標説明										
					指標名(2)											
					指標説明											
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	93.4	特記事項					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	693	693	693	693	693	693			100.0				
	活動指標(2)	2	件	1	1	1	1	1	1			100.0				
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,232	5,425	5,144	5,327	4,976	5,537	平成27年度予算執行率(%)	93.4					
	(内)投資的経費等	6	千円	380	0	0	0	0	0							
	(内)委託費	7	千円	3,075	3,205	3,080	3,129	3,089	3,425							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.12	0.12	0.11	0.11	0.12	0.12						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,036	1,057	969	969	1,050	1,050						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	566	566	587	587						
	総事業費	14	千円	6,268	6,482	6,679	6,862	6,613	7,174							
	単位当たりコスト	15	円	8,496	9,354	9,638	9,902	9,543	10,352							
	財源	受益者負担分	16	千円	375	400	451	450	516	510						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20	千円	375	400	451	450	516	510							
差引:一般財源		21	千円	5,893	6,082	6,228	6,412	6,097	6,664							
受益者負担比率	22	%	6.0	6.2	6.8	6.6	7.8	7.1								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 226

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	2	所	3,012
		光熱水費	2	所	1,887
		維持管理経費ほか	2	所	77
		その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>障害者交流館の維持管理については、業務委託をしている杉並区障害者団体連合会と連携し行っています。高円寺障害者交流館は、同じ建物の中に高円寺福祉事務所、障害者地域相談支援センター（すまいる高円寺）があり、施設全体で利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。また、和田障害者交流館についても、和田小学校の一部を区民集会所と併設で目的外使用し、高円寺障害者交流館と同様な内容で行っています。節電にも積極的に取り組んでいます。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、業務委託している杉並区障害者団体連合会と連携を密にして、施設の保守管理に努めています。その結果、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者から安心して施設を利用できると言われています。高円寺交流館については、駐輪場が狭いことや、土壌環境の関係で地階施設の湿気が高い等の課題があります。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成28年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00219 ）

事務事業名称 障害者施設運営			款 04	項 01	目 06	事業 004	整理番号 227				
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273			昨年度整理番号 226					
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始										
	平成27年度担当課名 障害者生活支援課					事業評価区分 一般					
	対象	区が有する障害者福祉施設等（生活圏を除く）	根拠法令等 (1) (2)	契約事務規則 会計事務規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	効率的かつ効果的な事務事業の執行による障害者福祉施設の側面支援、障害者福祉行政の充実を図る。	活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	障害者生活支援課本庁職員 需用費（一般需用費）合計							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品を購入する。 各園の事業運営や維持管理に含めることの難しい運営に必要な諸事務経費（区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定、研究会負担金等）。	成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明								
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	人	10	10	10	9	9	9	100.0	
	活動指標（2）	2	円	939	1,600	1,428	1,966	1,876	2,069	95.4	
	成果指標（1）	3									
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,367	8,659	7,694	8,105	7,879	7,751	平成27年度 予算執行率(%) 97.2	
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	（内）委託費	7	千円	2,536	3,110	2,581	2,981	2,922	2,562		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.81	0.81	0.68	0.68	0.59	0.59	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.40	0.40	0.20	0.20	0.40	0.40	
	人件費	常勤職員分	11	千円	6,990	7,136	5,991	5,991	5,161	5,161	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	1,112	1,132	566	566	1,174	1,174	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	14,469	16,927	14,251	14,662	14,214	14,086		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	1,446,900	1,692,700	1,425,100	1,629,111	1,579,333	1,565,111		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	14,469	16,927	14,251	14,662	14,214	14,086		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	227	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		樹木管理委託等		1	所	2,292
		光熱水費（あすなる作業所・障害者生活支援課分室）				2,882
		一般購入・施設修繕等				2,506
	その他（研究会負担金、報償費の支出ほか）				199	
(2) 事業実績	<p>本庁職員が施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品の購入のほか、各生活園の事業運営が維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務を行っています。委託料は区有施設「あけぼの作業所」の樹木剪定費で、施設及び近隣の住環境の維持向上を図っています。</p> <p>重度知的障害者施設の整備に伴い、「あすなる作業所」2階部分の旧シルバー人材センターにかかる平成26年4月から8月分の光熱水費及び維持管理経費を負担しました。9月からは、通所施設が開所され、「あすなる作業所」運営法人の負担になりました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事務事業の経費削減に努めながら、需用費の支出については効率のかつ効果的に執行しています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	特に意見はありません。				
	今後の予測	コスト削減に加え、環境に配慮した事務用品の購入が求められます。				
評価と課題	運営に必要な諸事務・諸経費のため大きな改善・改革は難しいが、不要不急な経費の支出や必要性の薄れたものの支出について、常に見直しを行っていきます。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	常に全体の中で経費の見直しを行っていきます。					

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00220）

事務事業名称		すぎのき生活園の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	005	整理番号	228	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	すぎのき生活園			連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	227				
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和55年度														
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分	施設維持管理									
	対象	すぎのき生活園の利用者				根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
							(2)		杉並区立すぎのき生活園条例							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。				活動指標	指標名(1)		延べ床面積							
						指標名(2)		保守委託契約件数								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。				指標説明											
					成果指標	指標名(1)										
						指標名(2)										
						指標説明										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	100.0						
	活動指標(2)	2	件	11	10	10	10	10	10	100.0						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	21,266	24,680	24,374	27,261	25,828	26,035	平成27年度予算執行率(%)	94.7					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	11,023	12,760	12,620	13,512	13,481	13,913							
	職員数	常勤職員数	8	人	2.08	2.08	2.84	2.84	2.74	2.74						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	2.20	2.20	1.10	1.10	1.20	1.30						
	人件費	常勤職員分	11	千円	17,950	18,325	25,020	25,020	23,967	23,967						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	6,116	6,226	3,113	3,113	3,522	3,816						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	45,332	49,231	52,507	55,394	53,317	53,818							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	18,640	20,243	21,590	22,777	21,923	22,129							
	財源	受益者負担分	16	千円	2	2	2	2	3	5						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2	2	2	2	3	5							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	45,330	49,229	52,505	55,392	53,314	53,813							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	228	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託		1	所	12,477
		光熱水費		1	所	9,173
		維持管理経費等		1	所	4,178
	その他（ ）					
(2) 事業実績	室内機洗浄修理他部品交換、消防設備改修、空調機GHP室内機プリント基板交換、排煙窓開閉装置修理、すぎのき棟ではGHP-1系統室内膨張弁交換外3室修理、玄関スロープ床面修理、陶芸室入口錠修理、けやき棟ではトイレ自動ドア装置交換、自動ドア部品交換、男子トイレ自動小便器センサー交換修理を行いました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	施設が開設してからすぎのき棟は34年目、けやき棟は23年目を迎えています。そのため、施設ハード面や機械設備面で様々な改修・修理が必要になっています。通所する利用者の安全を確保しながら順次計画的に改修を行います。 また通所する利用者は、開設当初の対象者と比べると、不安状態・パニック状態になる対象者が多い傾向にあります。施設ハード面を整備を行う際は、現在の対象者に応じた整備を進めていきます。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性				

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00221）

事務事業名称		こすもす生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	006	整理番号	229	
現担当課名		障害者生活支援課			係名	こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	228		
上位施策No・施策名										16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 5年度													
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課											事業評価区分	施設維持管理	
	対象	こすもす生活園の利用者			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
						(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。			活動指標	指標名（1）		施設の延床面積							
					指標説明		保守委託契約件数								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			指標名（2）	指標説明										
	利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。			成果指標	指標名（1）										
					指標説明										
				指標名（2）	指標説明										
					指標説明										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（1）	1	m ²	794	794	794	794	794	794	100.0					
	活動指標（2）	2	件	7	7	7	7	7	7	100.0					
	成果指標（1）	3													
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	7,620	8,999	7,875	10,558	8,676	9,625	平成27年度 予算執行率(%)	82.2				
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	（内）委託費	7	千円	4,087	4,023	3,947	4,071	4,017	4,248	予算執行率が低いのは光熱水費実績によるものです。					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.85	1.85	1.84	0.94	0.74	0.74	前年度事業費からの増加は緊急性の高い修繕（消防設備等）を流用で対応したためです。				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	1.20	1.00	1.00					
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.10	0.10	0.20	0.20					
	人件費	常勤職員分	11	千円	15,966	16,299	16,210	8,281	6,473	6,473					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	4,860	4,139	4,139					
		非常勤職員分	13	千円	556	566	283	283	587	587					
	総事業費	14	千円	24,142	25,864	24,368	23,982	19,875	20,824						
	単位当たりコスト	15	円	30,406	32,574	30,690	30,204	25,031	26,227						
	財源	受益者負担分	16	千円	64	64	64	64	64	64					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20	千円	64	64	64	64	64	64						
差引：一般財源		21	千円	24,078	25,800	24,304	23,918	19,811	20,760						
受益者負担比率	22	%	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	229
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	所	3,516
		光熱水費	1	所	3,059
		維持管理経費等	1	所	2,101
	その他()				
(2) 事業実績	1階流し台下の床置き小型電気温水器、特殊歩行器の前輪キャスター、浴室入口引き戸、厨房入口引き戸、厨房食器流し台脚部の裂断箇所、厨房浅型流し台排水管詰まり、厨房天井の照明器具、自動火災報知設備(煙探知機)、非常照明設備(バッテリー17か所)の修理を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
評価と課題	<p>開設してから20年以上が経過し様々な機器が耐用年数を過ぎているため、計画的な修理・取り替えを行います。</p> <p>利用者の障害の重度化・重複化傾向のため、使用する車いすも座位を保持する必要性から大型化しており、活動のスペースが限られています。利用者間の接触トラブルも増えており、環境の整備とともに活動の動きを想定した点検を実施していきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（0022）

事務事業名称		なのはな生活園の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	007	整理番号	230	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	229				
上位施策No・施策名											16 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 9年度														
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分	施設維持管理									
	対象	なのはな生活園の利用者				根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
							(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。				活動指標	指標名（1）		施設延べ床面積							
						指標名（2）		保守委託契約件数								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				指標説明											
	利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。				成果指標	指標名（1）										
						指標名（2）										
						指標説明										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標（1）	1	m ²	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	100.0							
	活動指標（2）	2	件	9	9	9	9	9	100.0							
	成果指標（1）	3														
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	11,549	12,207	12,030	13,336	12,381	14,993	平成27年度予算執行率(%)	92.8					
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	5,494	5,466	5,420	6,017	5,891	5,907							
	職員数	常勤職員数	8	人	1.85	1.85	1.84	1.84	1.74	1.74						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50						
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.10	0.10	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	15,966	16,299	16,210	16,210	15,220	15,220						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	2,070						
		非常勤職員分	13	千円	556	566	283	283	587	587						
	総事業費	14	千円	28,071	29,072	28,523	29,829	28,188	32,870							
	単位当たりコスト	15	円	27,548	28,530	27,991	29,273	27,662	32,257							
	財源	受益者負担分	16	千円	15	2	8	3	5	3						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20	千円	15	2	8	3	5	3							
差引：一般財源		21	千円	28,056	29,070	28,515	29,826	28,183	32,867							
受益者負担比率	22	%	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	230
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	1	所	5,298
		光熱水費	1	所	4,551
		維持管理経費等	1	所	2,532
	その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>「みどりのボランティア」に樹木剪定や除草などを依頼し、景観と安全面や衛生面での管理を行っています。 清掃を障害者の事業所に委託し、障害者雇用の拡大を図るとともにコスト削減を実行しています。 平成27年度は、ストレッチャー修理、ホール他照明器具の交換、ソーラーシステムの修理を行いました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	<p>開設より17年目を迎え、施設や設備の老朽化が進んでいます。利用者が安全で快適に過ごせるように、日頃の管理や定期的な点検及び修繕を行います。 入浴備品（浴槽）の耐用年数7年を大幅に超えています。入浴サービスのニーズは高く、安定したサービスの提供のために、入浴設備を計画的に修繕及び買換えを進めます。 医療的ケアや重度の卒業生の増加が予想されます。当面の暫定対応をするために、バスや施設環境の整備が課題になっています。</p>				
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00231)

事務事業名称 障害者入所・通所施設の整備			款 04	項 01	目 07	事業 004	整理番号 239			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2277			昨年度整理番号 238				
上位施策No・施策名 16 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成11年度	実行計画事業 目標 04 施策 16		計画事業 01					
	平成27年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般				
	対象	障害者入所・通所施設を整備する社会福祉法人		根拠法令等 (1)	社会福祉法第6条					
				(2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第11項					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	入所待機者の解消を図るとともに、グループホームなどの居住の場の確保や就労の促進などと連携して、障害者の地域自立生活を総合的に支援することにより、障害者の安全・安心な地域生活を実現する。		活動指標 指標名(1)	確保優先入所枠数累計					
			指標説明	入所床確保施設数累計						
			指標名(2)							
			指標説明							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	社会福祉法人が整備する障害者施設に対し、施設整備費を助成することにより、障害者が利用する入所・通所施設を確保する。 平成27年度末現在、都内に4施設(うち2施設が区内)に入所枠を確保している。 重度障害者の通所先確保のため、重度障害者通所施設を整備する。		成果指標 指標名(1)	心身障害者入所施設から地域生活への移行者数						
			指標説明	都内施設入所者割合						
			指標名(2)							
			指標説明	都内施設入所者数÷施設入所者数						
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 名	56	56	56	56	56	56	100.0	
	活動指標(2)	2 名	4	4	4	4	4	4	100.0	
	成果指標(1)	3 名	4	15	8	4	3	4	75.0	
	成果指標(2)	4 %	53.7	55.0	54.4	54.5	54.5	54.9	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	46,452	90,686	89,189	42,258	42,257	73,180	平成27年度予算執行率(%) 100.0	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 事業費について平成26年度は償還金の助成に加え、重度知的障害者通所施設の改修工事があり、例年より事業費が増加しました。 平成27年度は償還金の助成のみであったため、事業費が減少しました。	
	(内)委託費	7 千円	3,339	47,000	46,505	0	0	0		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.35	0.30	0.34	0.34	0.35		0.35
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.30
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,021	2,643	2,995	2,995	3,061		3,061
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		881
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	49,473	93,329	92,184	45,253	45,318	77,122		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	883,446	1,666,589	1,646,143	808,089	809,250	1,377,179		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	49,473	93,329	92,184	45,253	45,318	77,122		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	239	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		マイルドハート高円寺の区民利用枠確保・運営法人への助成		9	床	23,540
		すだちの里すぎなみの区民利用枠確保・運営法人への助成		40	床	18,717
		その他（ ）				
(2) 事業実績	マイルドハート高円寺、すだちの里すぎなみの施設整備に係る福祉医療機構借入金の償還金に対して助成を行いました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>重い障害があっても、障害者が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう障害者施策の充実が求められています。こうした中で、国は障害者施設の整備補助に関して、地方自治体への補助を廃止し、補助対象を社会福祉法人などに限定しました。また、特別支援学校卒業者の通所先の確保が、施設数や入所定員が増えていかないため、困難になってきています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>重い障害があっても、住み慣れた地域で暮らすため、入所施設や通所施設に対し、大きな期待が寄せられています。特に、マイルドハート高円寺は、入所と通所の他に短期入所を行い障害者の地域生活を支援する中核的な役割としての期待があります。一方で施設数や入所枠が増えていかないため、入所・通所施設の整備が求められていました。そのため、平成29年度に開設予定の旧永福南小学校跡地を活用した重度身体障害者支援施設（特別養護老人ホームと併設）への期待が大きく、整備が待たれています。</p>				
	今後の予測	<p>在宅で生活している障害者の重度化や高齢化、支援者の高齢化が進んでおり、地域生活を継続できるようにするための施設整備等の支援が必要になっていきます。</p>				
評価と課題	<p>障害者通所施設の整備にあたっては、用地の確保や建設経費の負担などが課題となっているため、区有地等の活用や他施設との併設など、実効性のある整備方法を検討します。また、障害者通所施設において、医療的ケアの必要な利用者が増加しており、対応策を検討していきます。</p> <p>障害者入所施設については、旧永福南小学校跡地を活用した重度身体障害者支援施設（特別養護老人ホームと併設）の整備を平成29年度開設に向けて進めていきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>障害者施設は、整備に多額の整備費を要しますが、区が整備する場合には国や都からの整備補助を得られません。このため、社会福祉法人が国や都からの整備補助を活用し、法人自己負担分の一部を区が補助するといった手法により、障害者施設の整備を推進してきました。区からの助成により整備した施設には、より多くの区民の方が利用できるよう、今後も社会福祉法人等と連携して取り組んでいきます。また、区立施設再編整備計画により生み出された用地等を活用し、計画的に施設整備を進めていきます。</p>					